



ウメの専門家と観察する



「ウメの観察会」を開催します！



大阪市立大学理学部附属植物園は、2019年2月23日（土）に「ウメの観察会」を開催します。

観察会では本学理学研究科准教授 植松 千代美が専門家ならではの視点から、ウメの観察ポイントを分かりやすく解説します。また、簡単に花卉の色素を調べることでできる実験も行います。

当園内の梅園には白梅、紅梅、一重、八重と様々な花を咲かせるウメが約40品種植栽されています。早春に先駆けて咲く「春日野」に始まり、3月下旬までお楽しみいただけます。

ぜひ皆さまに広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただけますよう、よろしくお願い致します。



隠居城州（いんきょじょうしゅう）



【植松先生よりひとこと】

ウメは私をこの世界に導いてくれた花です。私が小学2年生の時の観察ノートには、「花の中に糸のようなものがある」と記されています。子どもの頃から、研究者となった今に至るまで、観察する姿勢等は基本的に変わっていません。それが現在の研究にまで繋がっています。身近な花もじっくり観察してみると、色々な発見があります。ぜひ一緒に新たな発見を楽しんでみませんか？

■講師紹介

植松 千代美（うえまつ ちよみ） 大阪市立大学大学院理学研究科准教授

<主な研究テーマ>

- ・バラ科の系統進化的解析
- ・ウメやハナモモで一個体の中に白やピンクの花が咲く仕組みの解明

- 開催日時 2019年2月23日（土）13時30分～（雨天時は室内での講義となります）
- 会場 大阪市立大学理学部附属植物園（大阪府交野市私市2000）
アクセス：京阪電車交野線「私市（きさいち）」駅下車、徒歩約6分
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html
- 参加費 無料（ただし、入園料350円が必要）
※中学生以下の方、大阪市民で満65歳以上の方は無料（住所・年齢の分かるものを提示）、障がい者手帳をお持ちの方、植物園メイトカード（65歳以上の交野市民で植物園メイトに登録された方）をお持ちの方は入園料無料
- 講師 植松 千代美（大阪市立大学大学院理学研究科准教授）
- その他 事前申し込みは不要です。
当日、13時30分に植物園入口芝生広場にお集まりください。

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：中野

TEL：072-891-2059 FAX：072-891-2101

Email：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

ウメの観察会



1年の中で最も寒い2月に、春の近いことを告げるウメ。園内の梅園には白梅、紅梅、一重、八重と様々な花を咲かせるウメが約40品种植栽されています。早春に先駆けて咲く‘春日野’に始まり、3月下旬までお楽しみいただけます。観察会では植物園教員がウメの観察をしながら分かりやすく解説します。また、簡単に花卉の色素を調べることのできる実験も行いますので、お気軽にご参加ください。

日時 2019年2月23日(土) 13:30～
(雨天は室内での講義となります)

場所 大阪市立大学理学部附属植物園植物園 芝生広場集合
講師 植松千代美(大阪市立大学理学研究科准教授)
参加費 無料(ただし、入園料350円が必要)
申し込み 不要

お問い合わせは植物園事務所まで、またはWebサイトをご覧ください。

TEL 072-891-2059 Web <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan>

